

畜産みやぎ

発行所
 名取市増田字柳田379番地1
 法人 宮城県畜産会
 電話 (382-8133)
 編集発行人 大堀 哲
 定価 1部80円
 印刷所 (株)東北プリント



第9回ミルクレディーコンテスト (H 11. 3. 20)

もくじ

平成11年度畜産関連施策の概要と新規事業の紹介…… 2

(株)宮城県畜産会の新組織機構並びに事業推進体制について…… 4

第9回ミルクレディーコンテスト決勝大会審査結果…… 5

 学生生活を振り返って…… 5

畜産試験場における平成11年度試験研究計画…… 6

豚の離乳後全身性消耗性症候群 (PMWS) …… 7

 抱負…… 7

 人の動き…… 8

平成11年度畜産関連施策の概要と新規事業の紹介

宮城県畜産課

これまで本県畜産は、良質なタンパク質の安定供給、生産活動を通じた県土、環境の保全維持という本来的な役割に加え、体験・交流等を通じた豊かな人間性の育成といった役割をも担ってきました。

しかし、一方で、国内の畜産は、国際化の荒波をともに受ける中、従事者の高齢化、担い手不足による生産基盤の弱体化、畜産物に対する国民ニーズの多様化、さらに、地球環境への負荷軽減や畜産物の安全性に対する国民的関心の高まりへの対応等、多くの課題を抱えています。

このような状況の下、本県畜産がこれらの課題をクリアし、将来にわたってその役割を引き続き果たしていくためには、新たに制定された「農政改革大綱」、「食料・農業・農村基本法」にうたわれている基本理念を踏まえ、新たな視点から各種施策を積極的に講じていくことが必要です。すなわち、広い視野と優れた経営感覚を有した畜産経営体を育成するため、意欲ある農業者等の自主性と創意工夫を活かしつつ、地域の自然的、経済的、社会的諸条件に応じて、生産だけに止まらない、加工・流通・消費全般にわたる総合的な施策を展開します。

このため、11年度においては、県内食肉処理施設の再編整備及び肉畜産地における高度に衛生的な食肉処理施設の整備を図り、総合的な食肉等の流通の合理化、近代化を推進します。また、21世紀を視野に入れた肉質・肉量のバランスがとれた肉用牛生産体制を確立するため、昨年度に引き続き種々事業を実施するとともに、ゆとりを持って新時代を生き抜いていくことができる酪農経営の実現を目指します。さらに、養豚生産の基盤強化を図るため、低コストハウス豚舎の設置並びに衛生面に一層配慮した、新技術の生産方式を取り入れた豚舎等の整備を図ります。そして、環境保全を一層加味した畜産を推進するとともに、家畜保健衛生対策におけるソフト・ハード両面からの取組を強化することで、一般消費者の要望に応え、広く県民に指示される畜産業の確立を目指します。

なお、これらの施策の展開に当たっては、新組織体制のメリットを十分に活かした上で、「新時代強く生き抜く 宮城の畜産」をスローガンに、次の五項目を重点施策に捉え、市町村、畜産関係団体等関係機関との連携を一層強化し、幅の広い視点で、総合的に推進するよう努めます。

- 1 21世紀みやぎの肉用牛生産の振興
- 2 ゆとりと効率的な酪農経営の振興
- 3 足腰の強い先進的養豚経営の振興
- 4 快適な畜産を支える生産環境の整備
- 5 新たな畜産技術の開発、普及


平成11年度畜産関係予算一覧表

科目・事業名	本年度予算額 (千円)
i 畜産総務費	778,663
ii 畜産振興費	2,804,839
1. 家畜改良増殖事業費	64,028
2. 家畜改良対策事業費	8,944
3. 家畜導入事業費	15,500
4. 畜産高度生産技術実用化促進事業費	13,530
5. 畜産流通対策事業費	94,097
6. 地域畜産振興事業費	275,280
7. 畜産環境総合整備事業費	346,032
8. みやぎの快適畜産総合対策事業費	2,790
9. 畜産団体等育成強化事業費	769,822
10. 公共育成牧場対策事業費	122,716
11. 草地開発事業費	731,689
12. 自給飼料生産対策事業費	3,736
13. 流通飼料対策事業費	2,377
14. 学校給食用牛乳供給事業費	112,863
15. 生乳流通改善対策事業費	4,743
16. 酪農経営体質強化対策事業費	2,150
17. 畜産再編総合対策推進事業費	1,786
18. 養豚振興総合対策事業費	12,052
19. 21世紀みやぎの牛づくり活性化事業費	220,704
iii 家畜保健衛生費	166,451
1. 家畜伝染病予防事業費	44,148
2. 家畜保健衛生費	14,451
3. 家畜衛生事業費	107,852
合計	3,749,953

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会
仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688



WORLD 咖啡
サンショウ



株式会社 五十嵐商会
仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話 (022) 236-2525 (代表)

正統の育ちと味



仙京

仙台牛銘柄推進協議会
仙台市青葉区上杉1-2-16 全農みやぎ畜産課内 TEL.022(264)8450

以下、主要な平成11年度の新規事業を紹介します。

1 食肉処理衛生施設整備事業

県内の食肉処理施設の再編整備と肉畜産地における高度に衛生的な食肉処理施設の整備等を図ることにより、総合的な食肉等の流通の近代化に資することを目的とした事業。

- (1) 事業主体 株式会社宮城県食肉流通公社
- (2) 事業年度 平成11年度～12年度
- (3) 11年度予算額 111,850千円
- (4) 事業内容

県内食肉処理施設の再編整備と衛生的食肉流通体制を確立するため、宮城県食肉流通センターの衛生施設整備を実施します。

繋留所、解体室、内臓処理室、除湿冷却室、部分肉加工室、枝肉冷蔵室、その他施設・機械等の衛生施設整備及び浄化槽等の増設

2 水田飼料作物利用肉用牛生産支援事業

緊急生産調整対策の重点転作物である飼料作物の効率的な利用を促進するため、簡易サイロ、パドック整備、畜舎の簡易改修等や家畜導入を行う事業。

- (1) 事業主体 農協等
- (2) 事業年度 平成11年度～
- (3) 11年度予算額 15,500千円
- (4) 事業内容

簡易サイロ、パドック及び簡易畜舎の整備並びに家畜の導入に対して助成します。

- ①簡易飼料作物貯蔵施設 10セット
補助率1/3 (上限100千円)
- ②パドック整備等 10セット
補助率1/3 (上限100千円)
- ③簡易畜舎改修等 10棟
補助率1/10 (上限30千円(新築))
(上限20千円(改修))
- ④肉用繁殖牛 100頭
補助率0.306 (上限110千円)

3 低コスト肉豚生産施設整備事業

養豚における規模拡大、低コスト化に必要な簡易で省力的な家畜管理施設の整備を行い、国際化に対応した生産性の高い安定した経営の確立を図り、もって、本県養豚の生産体制、さらには肉豚の流通体制の維持・拡大を目指す事業。

- (1) 事業主体 県・生産集団等
- (2) 事業年度 平成11年度～13年度
- (3) 11年度予算額 5,200千円
- (4) 事業内容

①養豚振興推進指導(事業主体: 県)

有良種豚「ミヤギノ」の生産対策、生産支援組織の育成等地域における養豚生産体制の整備、低コスト肉豚生産を一層推進するための普及・啓蒙資料の作成・指導等。

②低コスト肉豚生産施設整備事業(事業主体: 生産集団等)

生産コストの低減、労働時間の短縮等肉豚の生産性の向上に資するハウス豚舎の設置。

なお、平成11年度4月1日から産業経済部畜産課として業務を行っており、課内の組織も、今までの係制が廃止され、3班(畜産振興、家畜改良衛生及び草地環境整備の各班)体制となっています。それに伴い、次の各事業が他の課に移ることになりました。

事業名	平成11年度担当課名
環境保全型畜産確立指導事業	農業振興課
流通飼料対策調査指導事業	農業振興課
学校給食用牛乳供給事業	商業・流通課
幼稚園給食用牛乳供給事業	商業・流通課
飲用牛乳消費拡大事業	商業・流通課
銘柄豚流通対策事業	商業・流通課
県産牛肉消費拡大対策事業	商業・流通課

(畜産振興班 吉野 淳良)

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルピックス

牛用混合飼料

S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農協 | 畜産 | 経済連

畜産振興の明日を担う地方競馬



地方競馬全国協会

●効能……粗飼料の食い込み、消化吸収促進
悪臭防止、優良堆肥作り
創業38年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母

Ferment Feed

ビタコーゲン

株式会社セイフ 東北営業所
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
TEL (022) 215-3112
FAX (022) 213-7190

(社)宮城県畜産会の新組織機構並びに事業推進体制について

宮城県畜産会

平成11年4月1日より本会は新しい組織機構で事業を実施いたすことになりました。

今回の組織機構の改正は、全農宮城県本部の発足(平成10年10月1日)に伴い、従来全農宮城県本部が全国和牛登録協会宮城県支部、宮城県ホルスタイン協会から業務委託を受け実施していた家畜の登録(和牛・乳牛)及び家畜人工授精用精液供給並びに関連事業の業務移管によるもので、移管事業を総合的かつ一体的に推進するため3課3事業所体制で業務を実施いたすことといたしました。

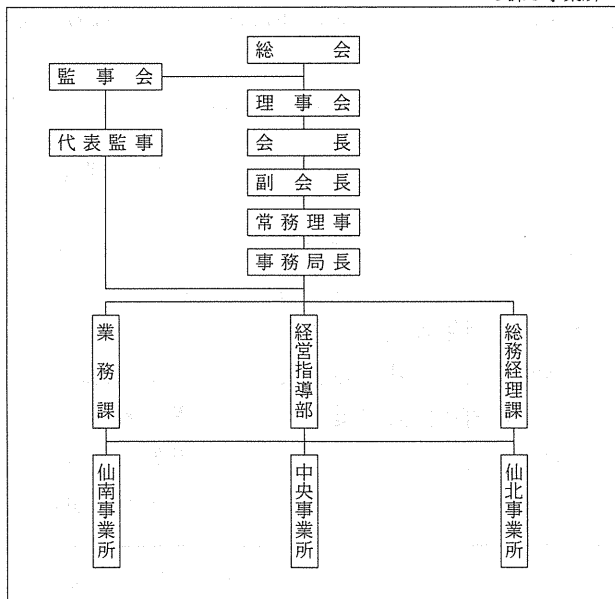
業務の執行に当っては現体制を継承することを前提とし全農宮城県本部職員の出向体制で移管事業を実施いたします。

移管事業は新たな体制の下スタートする関係上何かとご不便やご迷惑をお掛けすることと存じますが、ご理解を頂きたくお願い申し上げる次第です。

1. 新組織機構図

宮城県畜産会組織機構

3課3事業所



2. 本所及び事業所所在地

本所及び各事業所の所在地は次表のとおりですが、本所業務課は当分の間全農宮城県本部畜産部内に設置いたしました。

- ◆本所 〒981-1224
 総務経理課 名取市増田字柳田379番地1
 経営指導課 TEL022-382-8133
 Fax022-382-8135

- 業務課 〒980-0011
 仙台市青葉区上杉1丁目2番16号
 TEL022-264-8389・8446・8428
 Fax022-221-6542

- ◆仙南事業所 〒989-1224
 柴田郡大河原町金ヶ瀬字青木1-1
 TEL0224-52-2523
 Fax0224-51-1103

[管轄区域：仙台市・名取市・岩沼市・塩竈市・多賀城市・角田市・白石市・亶理郡・柴田郡・伊具郡・刈田郡・宮城郡]

- ◆中央事業所 〒987-0005
 遠田郡小牛田町北浦字生地62番地
 TEL0229-34-3304
 Fax0229-35-1157

[管轄区域：古川市・石巻市・黒川郡・遠田郡・桃生郡・加美郡・玉造郡・志田郡・牡鹿郡]

- ◆仙北事業所 〒987-0401
 登米郡南方町西山成前71-6
 TEL0220-58-5220
 Fax0220-58-5221

[管轄区域：気仙沼市・本吉郡・登米郡・栗原郡]

3. 本所及び事業所の業務内容

(1) 本所

- ※ 総務経理課－庶務及び経理並びに一般事務。
- ※ 経営指導課－畜産経営技術高度化促進事業等県並びに中央畜産会委託事業、総合畜産共進会、地域養豚生産振興対策事業、畜産経営技術普及及び広報活動事業その他一般指導事業。

- ※ 業務課－家畜登録(和牛、乳用牛)関連業務並びに精液供給事業、肉用牛集団畜種事業、乳用牛群検定事業、全和登県支部、宮城県ホルスタイン協会、宮城県家畜人工授精師協会事務局及び関係各事業並びに関連協議会、団体等関係事業。

- ※ 事業所－家畜登録、精液供給事業等業務課所管事業並びに関係指導事業。

(事務局長 菅原 和宣)

第9回ミルクレディーコンテスト 決勝大会審査結果

宮城県牛乳普及協会

第9回ミルクレディーコンテストは、去る3月20日(土)AER(アエル)5階多目的ホールにおいて開催されました。

今回の審査は、書類審査(応募総数97名)を通過した10名が参加し、特別審査員6名と一般審査員100名により、健康美をアピールする水着審査、特技の審査等を行った結果、下記の方がミルクレディーに選出されました。

今後2年間県内のミルク関係のイベント等でお手伝いをいたしますので、ご指導ご協力の程宜しくお願い致します。(高橋 弘美)

ミス・ミルクレディー

氏名:原田あすか
年齢:21歳
住所:宮城県
職業:学生
趣味:エアロビクス、茶道、料理、旅行他

準ミス・ミルクレディー

氏名:三浦沙織
年齢:19歳
住所:仙台市
職業:家事手伝い
趣味:ジャズダンス、クラシックバレエ、剣道他

準ミス・ミルクレディー

氏名:遠藤裕子
年齢:24歳
住所:仙台市
職業:学生
趣味:テニス、スキー他

ミルクレディー

氏名(年齢)
横山京子(20歳)、小野志保(24歳)、
鈴木里見(24歳)、庄司美奈(24歳)、
高沢悠子(22歳)、谷村美幸(24歳)、
岩渕久美子(21歳)

実践大学在校生及びOBの抱負

学生生活を振り返って

畜産学部21期生 國分一徳

私は花について興味があったので、もっと詳しく勉強しようと農業高校へ進みました。そこでは、農業科の授業で畜産のことも学び、養豚に大変興味を持ちました。話題になっているふん尿処理やハウス豚舎について、もっと詳しく勉強したくなり、畜産の道に進みたくまりました。

そこで、専門的な知識を身につけようと実習主体の農業実践大学校へ入学しました。畜産試験場と一体となって、毎日家畜に触れて勉強することができたからです。

そこでは、豚の成長は著しく早くわずか半年の子豚がもうと殺されるとは思いませんでしたし、それを私が手伝うなどとは思っていませんでした。また、実習の時にホコリを舞上げ掃除をしていたら、畜産試験場の先生に豚の呼吸器病やストレスによる病気の発生について教えられ注意して掃除するようになりました。

学生生活の思い出は、高校と大学校をとおしての5年間に渡る寮生活でした。初めて入った時は、厳しい規則があり、とても辛く感じられました。高校の担任の先生と二人で女子寮に入り、深夜までランプをしたら舎監長にお目玉をもらった経験もありました。しかし、大学校では高校での経験から、寮生活に早くから慣れ楽しく過ごすことができました。寮生活は先輩や友達との生活で身につけた協調性や信頼は、これからの人生に役立つと信じています。

現在は、日本ハイパー宮城農場のAIセンターで働いています。そこでは、精液採取し処理や希釈剤を作り販売しています。養豚管理のこと人工授精のことに限ってもまだまだ分からないことばかりで、これからも勉強しようと思っています。



STAR スター農業機械

マニュアルブレッタ

倍角ステアリングで
ラクラク作業

TBM1550+ADW1800
(倍角ステアリングボディ) (フィスクヒータ)

スター農機株式会社 仙台営業所
〒985-0845 多賀城市町前2丁目87 TEL.022-367-4573

TCM 東北ディー・シー・エム株式会社

スーパーボローダー

世界トップレベルの超低騒音

67dB(A)

本社・工場、仙台支店 宮城県仙台市宮城野区中野字茶#135-1
TEL (022) 259-6351(代)

動物用医薬品 犬・猫用ノミ駆除剤

フロントラインスプレー

新発売

動物用医薬品
ビタミンE・セレン配合ミネラル配合

銚塩E100

東北ペンヤク株式会社

〒981-3361 宮城県塩川郡登谷町あけの平2丁目311-5
TEL 022-348-6791 FAX 022-348-6794

<畜試便り>

畜産試験場における平成11年度試験研究計画

宮城県畜産試験場

試験研究方針

本県の畜産は、国際化の進展や市場原理に基づく産地間競争の激化が一層見込まれる中で、畜産従事者の減少と高齢化の進行、畜産物に対するニーズの多様化、さらには地球環境問題や畜産物の安全性に対する関心の高まりへの対応等、大きな変革の時代を迎えています。

本年度の畜産試験研究の方針として、高能力の種雄牛・種雄豚の造成事業を引き続き推進するとともにDNAの多型マーカーを利用した高資質牛・豚の選抜技術の開発に取り組みます。

また、牛における受精卵移植技術など先端技術の開発普及、放牧を利用した省力的管理技術の確立、豚においては人工授精技術や多様な高品質豚肉の生産技術の開発、DNAの多型マーカーを利用した抗病性家畜の選抜技術の開発を進めることとしています。

さらに、自給飼料の高位生産を図るための技術や適切な環境保全に対応できるふん尿処理技術の開発に取り組んでまいります。

各部の試験研究の概要

○酪農肉牛部

乳牛については、生乳生産性の向上を図るため高泌乳牛群に対する飼料給与技術及び高品質乳の生産技術の試験研究を進めていきます。

肉牛については、効率的な高品質牛肉生産のための飼料給与技術や肉用種雄牛造成のための産肉能力検定、繁殖牛の放牧技術等の研究を行います。

バイオテクノロジー関係については、体細胞クローン胚作出を含む牛体外受精技術やDNAマーカーを指標とした牛の育種手法の開発、DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患との関連解析、牛の受精卵移植技術の実証等の研究を行ってまいります。

○種豚家さん部

系統豚ミヤギノを利用した効率的な肉豚生産を行うためのより高い能力の雄型種豚（デュロック

種）の造成を進めるとともに、骨軟骨症と肢蹄形状及び脚弱並びにDNAの多型マーカーとの関連についても解析を進めるとともに、牛同様DNAの多型マーカーを利用した抗病性・高品質豚に係る選抜技術の開発に取り組むこととしています。

さらに、豚凍結保存精液による人工授精の実用化に向けて技術開発を進めてまいります。

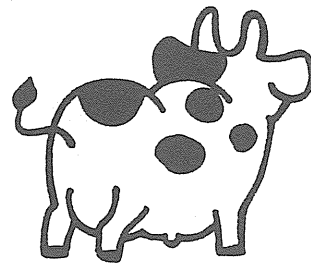
○草地飼料部

草地飼料については、自給飼料を低コスト高位生産と高品質粗飼料の安定確保を図るための優良品種の選定、飼料用作物の外来雑草防除技術の確立、環境保全を図りながら草地及び荒廃地・遊休地の生産力を高める簡易低コスト草生回復技術の確立試験を実施してまいります。

環境関係については、回分式活性汚泥法による効率的な尿汚水の処理法を検討するとともに今後規制強化が見込まれる窒素・リン除去技術の検討に取り組めます。また、糞については設備投資の少ない自動攪拌機を備えたビニールハウスによる発酵乾燥処理技術の確立に向け取り組めます。

以上のように、本年度は新規試験研究課題3課題を立上げ21課題に取り組んでまいります。また、県行政機関の再編と平行して、試験研究機関再編整備計画が検討され、成果を重視した効率的な試験研究推進のための組織体制へ順次整備されることとなります。

(草地飼料部長 高橋 喬一)



ORION ともに前進 技術のオリオン 酪農家の 声を反映した製品づくりと安心の おけるアフターサービスは オリオングループの誇りです。 東北オリオン株式会社 本社 〒984-0001 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)294-0691 宮城営業所 吉川市稲田字泉原59-4 〒989-6226 TEL(0229)26-4330

KOMATSU かんたん操作で、 飼料も堆肥もラクラク作業 KOMATSU 宮城株式会社 仙台市宮城野区扇町二丁目1の30 電話(022)(237)7441番(代)

ビフィズス菌は ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。 生きてそのまま腸までとどきます。 ビヒダス ヨーグルト 500ml 宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目1番3号 ☎(022)384-5181

〈衛生便り〉

豚の離乳後全身性消耗性症候群
(PMWS)

仙台家畜保健衛生所

PMWSは1991年にカナダ西部の豚群に初めて認められた全く新しい病気です。カナダでは衛生管理の良好な農場でしかもPRRS（豚繁殖・呼吸障害症候群）感染の有無にかかわらず罹患した育成豚は、進行性の体重減少、呼吸困難、黄疸などを示し、間質性肺炎、肝炎、腎炎、リンパ腺症などの病変が認められています。さらに罹患豚の病変部からは小型のウイルスが分離されており、検査の結果、豚サーコウイルスと同定されました。このウイルスは近年、鶏に貧血を主徴とし経済的損失も大きいとされる鶏貧血ウイルス（トリサーコウイルス）と同様に全身のリンパ系組織にみいだされ、リンパ球減少を示すことから、二次的に免疫不全を引き起こすと考えられています。日本でもこの豚サーコウイルスに起因すると思われる豚の消耗性疾患が1998年までに3県で報告されています。三重県と富山県の症例では離乳後の子豚が元気消失、貧血などを呈し全頭に発育不良が見られました。山形県の例では50日齢の豚に下痢、呼吸困難、発育不良を呈し死亡頭数も増加し、死亡豚はいずれも細菌の二次感染による全身感染を示しています。これら3県の症例からはサーコウイルス様粒子が分離され、カナダでのPMWSとの類似疾患として全国的に注目されるようになりました。今まで原因不明とされていた子豚や肥育豚の発育不良や消耗性疾患から分離されたことにより、日本にも広く本ウイルスが浸潤している可能性が示唆されています。

豚サーコウイルスがPMWSと深い関わりをもつことは諸外国の報告からもわかってきましたが、なぜこのウイルスが免疫を低下させ混合感染を誘発するかなどの詳しいことは現在研究が進められている段階ですが、対応策としては抵抗力の弱い若齢豚で多発していることから、この時期の二次感染防止や消毒の励行によりウイルスの侵入を防止することが重要と思われます。

(病性鑑定課 横山 亮一)



抱負

宮城県畜産試験場 猪股 永治

はじめまして。平成10年4月から畜産試験場肉牛科に勤務しております、猪股永治です。高校時代まで矢本町で暮らし、学生時代を仙台市で過ごしてきました。これまではずっと親元で暮らしてきました。そのため一人暮らしというものに強いあこがれを持ってきました。その念願がかない、昨年4月から試験場内の寮での一人暮らしをはじめました。一人暮らしをはじめめる前にわたしの夢は、毎日お酒を飲む、お風呂上がりに歩いて居酒屋に飲みに行くこと、日曜日にはだらだらすることでした。実際、一人暮らしをはじめましたが、試験場内の寮のため、毎日お酒を飲むことは可能になりましたが、歩いて居酒屋に行くことはできませんでした。また、試験場内では多くの動物を飼育しているため、日曜日でも規則正しく始業、昼休み、中休み、終業のベルが鳴ります。そのためいまだにあこがれのだらだらとした生活ができずにいます。しかし、今ではそのような生活にも慣れ、何不自由なく、楽しく、健康に毎日過ごしています。今のところ、唯一の悩みは、少しは通勤してみたいなあと思うことくらいです。通勤が大変な方から見ると少し贅沢な悩みですが。

現在わたしの所属している肉牛科では、主に黒毛和牛に関して肉牛素牛や肥育牛の飼養管理について、また種雄牛造成や育種管理など改良に関する研究を行っています。畜産業にとって最も大切だと思われる育種改良と飼養管理技術を同時に研究している科ですが、そのどちらかが欠けたり停滞していると“効率化”という言葉がなくなってしまうと思います。いまだに勉強中であり、科長をはじめ、先輩方にはご迷惑をかけっぱなしですが、やりがいを強く感じております。がんばります。今後ご指導の程よろしくお願いいたします。



<人の動き>

宮城県

退職（3月31日付け）農政部技監兼次長（技術担当） 大立目 謙 侃
 “ 農政部技術参事兼畜産試験場長 佐々木 良 悦
 “ 農政部技術副参事（団体指導担当） 荘 司 尚
 “ 仙台地域農業改良普及センター所長兼仙台農林振興事務所農業普及部長 近 藤 康 弘
 “ 大河原家畜保健衛生所技術副参事兼大河原農林振興事務所畜産振興部 横 山 孝 夫
 “ 迫家畜保健衛生所技術主幹兼指導課長兼迫農林振興事務所農業振興部 三 浦 正 行
 “ 地域農業振興室企画員 伊 藤 勝
 畜産試験場種豚家きん部長兼農業実践大学校 伊 藤 勝

平成10年 4月 1日付け


新	旧	氏名
産業経済部長	水産林業部長	千葉 眞弘
産業経済部農林水産局長	築館農林振興事務所長	伊藤 孝雄
産業経済部技術副参事（団体指導担当）	農政部技術副参事兼畜産試験場	佐藤 新六
産業経済部技術副参事（畜産経営企画担当）	農政部技術副参事（畜産経営企画担当）兼畜産課技術補佐	秀島 理明
産業経済部畜産課長	農政部畜産課長	山本 義信
産業経済部畜産課副参事課長補佐	環境生活部環境政策課副参事課長補佐	三浦 利夫
産業経済部畜産課技術副参事兼技術補佐（総括担当）	仙台家畜保健衛生所技術副参事兼次長兼仙台農林振興事務所	石川 勇志
産業経済部畜産課技術副参事兼技術補佐（班長）	古川家畜保健衛生所技術副参事兼次長兼古川農林振興事務所	佐々木 和夫
産業経済部畜産課技術補佐（班長）	本吉地域農業改良普及センター技術主幹兼技術指導課長兼迫農林振興事務所	高橋 利夫
産業経済部畜産課技術補佐（班長）	農政部畜産課上席技術主幹兼衛生係長	川村 芳夫
産業経済部畜産課技術主査	仙台家畜保健衛生所技術主査兼仙台農林振興事務所畜産振興部	高橋 伸和
産業経済部畜産課	迫農林振興事務所志津川出張所	三浦 伸一
産業経済部畜産課	古川地域農業改良普及センター兼古川農林振興事務所農業普及部	佐瀬 千恵
大河原家畜保健衛生所技術副参事兼次長（総括担当）兼大河原農林振興事務所	農政部農業技術課技術副参事兼肥飼料検査所長	齋藤 喜平
大河原家畜保健衛生所主任主査兼大河原農林振興事務所	仙台家畜保健衛生所技術主査兼仙台農林振興事務所畜産振興部	大久 範幸
大河原家畜保健衛生所兼大河原農林振興事務所	迫家畜保健衛生所兼迫農林振興事務所畜産振興部	佐藤 都
大河原家畜保健衛生所技術主査兼大河原農林振興事務所	農政部畜産課	安達 芳則
仙台家畜保健衛生所長兼仙台農林振興事務所畜産振興部長	古川家畜保健衛生所長兼古川農林振興事務所畜産振興部長	大村 信
仙台家畜保健衛生所次長（総括担当）兼仙台農林振興事務所	迫家畜保健衛生所次長兼迫農林振興事務所畜産振興部	大村 信
仙台家畜保健衛生所兼仙台農林振興事務所	古川家畜保健衛生所技術主査兼古川農林振興事務所畜産振興部	西川 彰子
古川家畜保健衛生所長兼古川農林振興事務所畜産振興部長	新採用	石橋 拓英
古川家畜保健衛生所長（総括担当）兼古川農林振興事務所	築館農林振興事務所畜産振興部長兼迫家畜保健衛生所次長	松本 忠
古川家畜保健衛生所技術次長（班長）兼古川農林振興事務所	仙台農林振興事務所農業振興部次長兼地域農業振興室長	谷津 芳勝
古川家畜保健衛生所技術次長（班長）兼古川農林振興事務所	古川家畜保健衛生所上席技術主幹兼防疫課長兼古川農林振興事務所畜産振興部	飯淵 良廣
古川家畜保健衛生所主任主査（班長）兼古川農林振興事務所農業振興部企画員	畜産試験場酪農肉牛部バイオテクノロジー研究科長	沼辺 孝
古川家畜保健衛生所技術主査兼古川農林振興事務所	仙北食肉衛生検査所技術主査	橋本 和広
古川家畜保健衛生所兼古川農林振興事務所	石巻地域農業改良普及センター兼石巻農林振興事務所農林普及部	阿部 忠宏
築館農林振興事務所畜産振興部長兼迫家畜保健衛生所次長	農政部畜産課技術副参事兼技術補佐（家畜改良・衛生担当）	浅野 安夫
迫家畜保健衛生所次長（総括担当）兼迫農林振興事務所	古川家畜保健衛生所上席技術主幹兼指導課長兼古川農林振興事務所農業振興部地域農業振興室企画員	大久 昇悦
迫家畜保健衛生所技術次長（班長）兼迫農林振興事務所	迫家畜保健衛生所上席技術主幹兼防疫課長兼迫農林振興事務所畜産振興部	谷津 直子
迫家畜保健衛生所主任主査（班長）兼迫農林振興事務所農業振興部企画員	畜産試験場酪農肉牛部肉牛科長	織江 貞二
築館農林振興事務所畜産振興部主任主査兼迫家畜保健衛生所	迫家畜保健衛生所防疫課長補佐兼迫農林振興事務所畜産振興部	大場 実
迫家畜保健衛生所兼迫農林振興事務所	新採用	松田 里子
迫家畜保健衛生所技術主査兼迫農林振興事務所	築館農林振興事務所農業振興部技術主査	大沼 篤
迫家畜保健衛生所兼迫農林振興事務所	仙北食肉衛生検査所	熊谷 光
産業経済部技術参事兼畜産試験場長	仙台家畜保健衛生所長兼仙台農林振興事務所畜産振興部長	谷津 邦郎
畜産試験場種豚家きん部長	大河原家畜保健衛生所技術副参事兼次長兼大河原農林振興事務所畜産振興部	佐藤 康徳
畜産試験場次長（総括兼班長）	迫農林振興事務所農業農村整備部次長	木村 健
畜産試験場主任研究員	農政部畜産課技術主幹兼草地環境整備係長	菊田 正信
畜産試験場副主任研究員	大河原畜産保健衛生所指導課長補佐兼大河原農林振興事務所畜産振興部	伊藤 敦
畜産試験場	肥飼料検査所	大庭 康彦
畜産試験場	気仙沼保健所	川端 史世
畜産試験場	古川家畜保健衛生所兼古川農林振興事務所畜産振興部	柴田 知也
畜産試験場研究員	築館農林振興事務所畜産振興部技術主査兼迫家畜保健衛生所	高田 直和
畜産試験場	迫家畜保健衛生所兼迫農林振興事務所畜産振興部	田中 たまき
総務部長	農政部長	菅原 清毅
産業経済部むらづくり推進課長	農政部畜産課長	大野 興一
阿武隈川下流流域下水道事務所副参事兼次長（総括担当）	農政部畜産課副参事課長補佐	岡崎 俊雄
大河原農林振興事務所農業振興部次長（総括兼班長）	農政部畜産課上席技術主幹兼畜産経営係長	小野 寺千一
産業経済部農業振興課主任主査	肥飼料検査所技術主任兼農政部畜産課	津場 俊行
産業経済部農業振興課技術主査兼産業技術振興課	農政部農業技術課技術主査	日野 義彦
産業経済部農業振興課技術主査	農政部畜産課技術主査	鈴木 昌芳
古川農林振興事務所農業振興部技術主査	農政部畜産課技術主査	漆山 俊作
古川農林振興事務所農業農村整備部	農政部畜産課	石川 誠市

新	旧	氏名
産業経済部商業・流通課 古川農業試験場副参事兼次長(総括兼班長) 本吉地域農業改良普及センター技術主査(班長)兼迫農林振興事務所兼病害虫防除所 産業経済部産業技術課主任主査 古川地域農業改良普及センター技術主査兼古川農林振興事務所札幌事務所 石巻地域農業改良普及センター兼石巻農林振興事務所 登米保健所	農政部畜産課 畜産試験場副参事兼次長畜産試験場総務課長事務取扱 畜産試験場草地飼料部草地飼料科長 畜産試験場種豚家きん部養豚家きん科長 畜産試験場研究員 畜産試験場 畜産試験場 大河原家畜保健衛生所兼大河原農林振興事務所畜産振興部	鈴木 徳彦 小林 哲也 佐藤 章 鹿野 裕志 半沢 康弘 島原 弘昭 清水 俊郎 照井 優一

全農みやぎ

平成11年4月1日付け

新	旧	氏名
管理部付石巻埠頭サイロ(株)出向 畜産部長 仙北食肉販売所長 家畜市場課 総合企画部企画課 管理部付北日本くみあい飼料(株)出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 畜産課 家畜市場課長兼みやぎ総合家畜市場場長 家畜市場課 管理部付(株)宮城県畜産会出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 総合対策課 畜産課 畜産課 畜産課 家畜市場課長補佐 家畜市場課 家畜市場課 みやぎ総合家畜市場副場長 経理課 米穀流通課 畜産課兼(株)宮城県畜産会仙南事業所駐在 畜産課 畜産課兼東京販売事務所 仙台食肉事務所 仙北食肉販売所 家畜市場課 家畜市場課 家畜市場課 農業機械課 東京生鮮食品集配センター東北園芸事業所 中央畜産センター東北畜産販売所 管理部付(株)宮城県畜産会出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 管理部付(株)宮城県畜産会出向 J A 仙台駐在	畜産部長 総務課長 佐沼畜産事業所長 畜産部付総合家畜市場建設担当 管理部付北日本くみあい飼料(株)出向 肥料農業課長補佐 築館畜産事業所長 大河原畜産事業所長 古川畜産事業所次長 家畜市場課長 小牛田畜産事業所長 古川畜産事業所次長 築館畜産事業所次長 小牛田畜産事業所次長 家畜市場課 家畜市場課 小牛田畜産事業所 大河原畜産事業所次長 家畜市場課長補佐 築館畜産事業所 畜産部付統合家畜市場運営担当 佐沼畜産事業所次長 小牛田畜産事業所 仙北食肉販売所長 仙北食肉販売所 佐沼畜産事業所 大河原畜産事業所 畜産課兼東京販売事務所 畜産課 古川畜産事業所 経理課 築館畜産事業所 小牛田畜産事業所 佐沼畜産事業所 大河原畜産事業所 仙台食肉事務所 小牛田畜産事業所 小牛田畜産事業所 大河原畜産事業所 築館畜産事業所 佐沼畜産事業所 家畜市場課 築館畜産事業所 家畜市場課 家畜市場課	西條 将志 芳賀 正 千葉 勝也 小池隆一郎 小関 俊彦 鈴木 信行 堀内 政昭 保科善一郎 那須 正晃 佐藤 和文 斎藤 哲郎 菅原 金一 安田 俊一 菅原 勝則 太宰 仁 上野 新英 赤坂 隆一 高橋 一雄 高橋 好博 熊谷 誠毅 安部 俊也 伊藤 禎徳 森谷 久 安住 英一 星 敏彦 熱海 伸浩 横江 進 高川 信幸 長山 久志 三浦 光也 櫻井 弘 葛岡キエ子 半田 勝則 櫻井 弘幸 佐々木 典子 森 正義 松浦 浩司 的場 俊次 太田 正利 伊藤 信行 佐々木 重善 伊藤 久美 佐藤 潤 千葉 勝彦 畑山 和夫



肉の日

毎月29日は肉の日です

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-1224 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)
電話 022-382-8133

お肉は、私たちの体の血となり
肉となる、たいせつなタンパク源。
ビタミン、ミネラルも豊富な、
たいへん優れた食品です。

